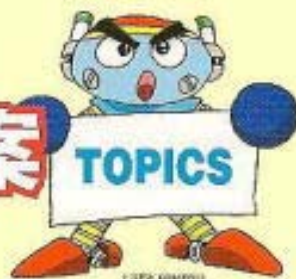


# 公明党の提案 TOPICS



## 「携帯電話の回収」を促進

携帯電話には金や銅・ニッケル・リチウム等、多くのリサイクル資源が使われています。貴重な資源を確保・リサイクルするため、公明党は「使わなくなった携帯電話の回収を行政としても促進すべき」と訴えてきました。それを受け、調布市は「市報」や「ホームページ」で回収の推進を積極的に行なっています。東京都では10月2日から、大学や地下鉄・区役所・市役所など、都内20ヶ所に回収ボックスを設置し協力を呼びかけています。

資源リサイクルマーク



モバイルリサイクルネットワーク  
www.city.toshima.lg.jp



## 「振り込め詐欺撃退カード」を作成

全国的に被害が後を絶たない「振り込め詐欺」。調布市でも平成20年度8月末現在で66件、被害総額約8300万円と、前年同期より増加しています。公明党は少しでも被害を未然に防ぐために、対策の強化を市に要請しました。調布市は調布警察署や調布地区防犯協会とも協力し、このたび「撃退カード」を作り市内全世帯に配布。受話器や目の付きやすいところにカードをつけ、未然防止に役立てるよう呼びかけています。



## 地域コミュニティ活動拠点施設を推進

地域福祉センターを補完するためのコミュニティ施設「ふれあいの家」が市内14箇所に設置されています。これまで空白地域であった小島町・染地地域にも「ふれあいの家」が設置されることになりました。調布市は後期基本計画の中で、コミュニティー施設「ふれあいの家」で葬儀も出来る多機能化を図るため、新設・移転改築等に着手しました。特にこれまで空白地域であった「小島町」や「染地」地域、そして旧大町小学校跡地に整備されることになり、地元の皆さんには大変喜ばれています。小島町地域は市営住宅跡地に開設予定。染地地域は「あゆみ学園」が来年移転をするため、その一部を「ふれあいの家」として整備することになりました。

